

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆所得流出は約4兆円拡大か 4～6月の民間予測、原油高が影響

・中東危機は実質GDPの見た目以上に経済の下押し圧力になるおそれがある。輸入物価が上昇すると同じ量の輸入に余分にお金がかかるようになる。この交易損失による「所得流出」が原油高で拡大しかねない。内閣府が発表した1～3月期のGDP統計によると、輸出入の価格変動を反映した所得流出は前期比の年率換算で9680億円膨らんだ。

#### ◆経産省、2026年夏の節電要請見送りを正式表明 3年連続

・経済産業省は総合資源エネルギー調査会(経産相の諮問機関)の小委員会で、2026年夏の節電要請をしない方針を正式に表明。要請見送りは3年連続。26年夏の電力需給は国内すべてのエリアで予備率は最低限必要な3%を上回るといふ。中東情勢が緊迫化しているなかでも、発電に必要な燃料は平年並みを確保できていると見込む。

#### ◆4月の訪日客5.5%減、3カ月ぶりマイナス 中東発着便の欠航響く

・日本政府観光局が発表した4月の訪日外国人客数は前年同月比で5.5%減の369万2200人。3カ月ぶりに前年同月を下回った。中国政府の渡航自粛要請に加え、中東情勢の悪化による航空機の欠航などが響いた。国・地域別に見ると、イタリアからの客が34.2%減の3万人。ドイツは15.2%減の4万8500人、スペインが21.6%減の1万9000人だった。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆住宅用の国産木材が値上がり 中東発コスト高の影響広がる

・木造住宅の梁(はり)や柱に使う国産製材品が値上がり。梁材は前月に比べ約1%、柱材は約2%高い。中東情勢の悪化に伴う輸送コストの上昇を受けたメーカー値上げが流通相場に反映。製材品のほか集成材でも中東情勢に伴う価格上昇圧力が強まっている。製材品は丸太を切って加工した角材や板材で木造住宅の柱や梁などに使う。

#### ◆ペロブスカイト太陽電池普及へ業界団体設立

・次世代太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」の普及に向けて、主要メーカー5社が業界団体を設立。製品規格の標準化や安全性の確保などに業界全体で取り組む。団体名は「日本ペロブスカイト太陽電池普及促進協議会」とし、15日付で設立。ロブスカイトの事業を手掛けるアイシン、エネコートテクノロジーズ、積水ソーラーフィルムなど。

#### ◆4月の木造住宅工事原価、前年同月から約6%上昇

・建設物価調査会は2026年4月分の「建設物価 建築費指数」を公表。東京における木造(W造)住宅の建築費指数は、工事原価で149.4となった。前月比で0.1%増(プラス0.1ポイント)、前年同月比では5.9%増(プラス8.3ポイント)。純工事費指数は151.1で、前月比で0.1%増(プラス0.1ポイント)、前年同月比では6.0%増(プラス8.5ポイント)。

### 《 注目商品 》

#### ■ミラトップ、スチール製フレームの洗面セット

・コンパクトな洗面ボウルにオリジナルのフレームを組み合わせた洗面セット。スチールパイプ製のフレームは、丸みを帯びた柔らかな形状が特徴で、浮遊感のある優しい印象に仕上げた。フレーム下部はタオル掛けを兼ねる機能的なデザイン。



#### ■タカラスタダード、ホーロー化粧洗面台をモデルチェンジ ファミーユ

・ホーローの優れた清掃性・耐久性とデザイン性を兼ね備えた中級価格帯の洗面化粧台。天板と洗面ボウルが一体型で手入れが簡単な「フラットカウンタータイプ」と天板上にボウルを置いた造作スタイルの「ベッセルボウルカウンタータイプ」をラインナップ。



#### ■住友ゴム工業、スリム化した住宅用制震ダンパー

・高減衰ゴムを2面から1面に変更し、スリム化した住宅用制震ダンパー。本体設計の工夫により、耐力壁や柱脚を固定するホールダウン金物との併用が可能となり、コンパクト住宅など多様な条件での設置に対応。

